



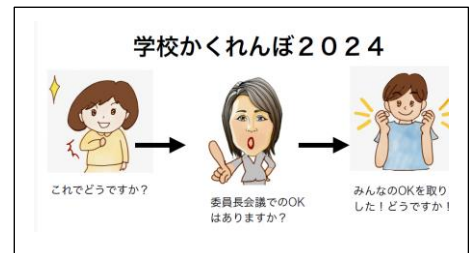
学校かくれんぼ2024

7月3日(水)5校時に、児童会活動の「学校かくれんぼ」が行われました。これは、4月から計画委員会が何度も企画を練り直し、実施に至ったものです。「校舎内に先生8人が隠れ、8人の先生を全校児童みんなで探す」という「学校かくれんぼ」です。この企画の実現までのドラマを次の日の学校朝会でもみんなにお話しました。以下が内容です。

昨日みんなが楽しみにしていた「学校かくれんぼ2024」が実施されました。楽しかったですね。しかし、この企画が実施されるまでに、みんなが見えないところで計画委員会の人たちの苦労がありました。今日は、そのことをみんなに話したいと思います。

実は、4月に計画委員会の代表が校長室にやってきました。そして『「学校かくれんぼ」をやりたいです！』と熱意を込めて話しました。校長先生は、すぐに OK を出さませんでした。「ただ『やりたいです』では、目的も分からないので、企画を練って持ってきて」と返しました。もう諦めたのかなあと思っていた運動会前です。また、計画委員の人たちがやってきました。しかし、校長先生は「怪我もなく、みんなが安全に楽しめる企画になっているかなあ。目的の達成になるのかなあ」と企画を見直すところを指摘して、再提出をお願いしました。

そして、「6月の委員会の時間に計画委員会のみんなでしっかり話し合いました。どうですか?!」と企画書を持ってきました。「時間をとって実施するということならば、各委員長の承諾も必要ではないですか。それは、大丈夫ですか。」と返すと、次の日には、「委員長会議で承諾をもらいました！」と報告にきました。素晴らしい熱意です。



その熱意の根底には、「学校教育目標の『一人一人が輝き、笑顔でつながる若葉小』にしたい。みんなが笑顔になるような企画をしたい。そして、なかなか触れ合うことのできない先生たちにも参加していただき、先生たちとも一つになりたい。」という思いがありました。(子どもたちからの「隠れて欲しい先生」の希望の中には、事務室の先生や給食の先生、図書室の先生、教頭先生、専科の先生方も入っていました。)学校を自分たちの力で目標に近づくように変えていきたいという情熱に校長先生は感動しました。

これを学級に置き換えてみましょう。「自分が楽しければいい」「人のためとかどうでもいい」ではなく、「学級目標の達成に向けてどうしたらいいかな」「今、ケンカが多くなっているから、どうにかしたいなあ」「元気がない人がいるからどうにかしたいなあ」と考え、行動に移せているか……。みんなの教室には学級目標が掲げられています。4月にどんな学級にしたいか担任の先生と一緒に時間をかけて考えた学級目標です。1学期もあと2週間ほどで終わりです。学級目標の達成状況も振り返り、自分だけでなく周りの人のためにも何かできることはないかを考えてみるといいと思います。

計画委員会の人たちは、自分たちで気づき、考え、行動したことで、児童会の組織についても理解できたと思います。みんなの「笑顔」で、自分も「笑顔」になれたと思います。「みんなのため……」と考え、行動したことが、結果として、「自分のしあわせ」にもなっているんですね。Well-being ですね。これからも学級や学校をもっとよいものにするために、自分たちで気づき、考え、行動して、well-being を感じることもできると思います。